

中3生→受験生に変わる2学期

夏休みもあとわずかになりました。2学期の開始と同時に中3生にとっては受験シーズンの幕開けです。特に公立高校入試は2学期の通知表でほぼ8割決まるとされています。5教科の実力だけで勝負できる国私立高校もありますが、もしも不合格だった場合は公立高校受験になることを忘れてはいけません。したがって今日からすぐに実技教科も含めて2学期通知表数値UPを考えて行動するようにして下さい。

まだまだ夏休み気分になっている人をしり目にしっかり日々の学習に力を注いでください。スマホゲームや他人の行動に流されている場合ではありません。特に偏差値60以上の高校を志望している生徒は人並・十人並みでは合格できません。「人のやらない時こそコツコツやる」ことが大切です。〔野垣勝彦〕

8月・9月のおもなスケジュール		
24	日	中3公開テスト(会場受験) 小4～中2公開テスト
25・26		中1・中2苦手攻略特訓
27・28		特進館アカデミー
29・30		自習室開室(13:30～22:00)
31	日	【完全休室】
9/1	月	テスト対策特別クラススタート
6	土	中3入試突破ゼミ
7	日	高校進学相談会 自習室開室(10:00～18:00)
11・12		オンラインDAY
13	土	中間直前ゼミ
14	日	自習室開室(10:00～18:00)
15	月	敬老の日【授業あり】
20	土	中3入試突破ゼミ
21	日	自習室開室(10:00～18:00)
23	火	秋分の日【授業あり】
27	土	中3入試突破ゼミ・中間直前ゼミ
28	日	自習室開室(10:00～18:00)

気持ちで動く

いよいよ受験生にとって勝負の2学期が始まります。高3生にとっては総合型選抜のスタート、中3生にとっては通知表が決まる大事なシーズンのスタートです。どちらも共通しているのは「他者の評価が結果に直結する」ということです。他者からの評価を高めるためには相手の気持ちを考えて行動することが大切です。どれだけ論理的に正しい言動をしたとしても、相手に悪印象を与えたのでは目的を達成することができません。昨今、「自分の正義」を振りかざし、他者の気持ちを考えない人が増えてきました。しかし、人間はどこまでいっても感情で判断する生き物です。それではうまく評価を得ることはできません。非合理に見える選択が合理的なこともあるのです。〔金子祐太〕

地域独占開催!! [入場券/席内入場券] 一般の方にもご参加いただけます

高等学校進学相談会 2025入試分析会

昨年来場者数300名以上!!

9/7日 11:00～15:00

今年もやります
詳しくはこちら▶
お友達紹介も!!

特進館学院 会場

進学相談会: エントランスビロイ
入試分析会: 名物【2層建て教室】
一般に参加可能
【席内入場券】
【席外入場券】

新たな挑戦、始めました

先日、皿回し体験をしたのですが、偶然回すことができました。嬉しくて売っていた皿回しセットを購入したものの、なかなか回せません。何時間も、何日も練習し、ついに時々回せるようになりました。すぐに結果を求めたくはなりませんが、やはり何事も毎日少しの時間でも向き合い、続けていくことで、結果がついてくるのだと思います。昨日の自分より、成長している自分でありたいものです〔厚地香里〕

7月の“自習王”決定!

★中学生の部
中3 藤原 芽生 **142.1** 時間

★高校生の部
高3 下村 奈都 **156.8** 時間

9月分 8月27日(水)

学費の振替

9月より開講の【入試突破ゼミ】を受講される中3生の方は、教材費を授業料との合算でご請求となっております。金額の詳細につきましては明細をご確認ください

選択肢を拡げすぎない...

情報があふれる現代。受験生にも多くの選択肢があります。しかし、選択肢が多ければ多いほど、逆に判断が鈍ることがあり、たくさんの選択肢に迷って結論を先伸ばしにするうちに貴重な時間を失いがちです。また、選択肢が多いことで、すべての選択肢に対する準備が中途半端となって、結果的に志望校対策が不十分になります。ですから受験生は、できるだけ選択肢を絞って深く掘り下げて学ぶことが重要で、これにより合格の可能性が高まります。

保護者の役割も重要です。あれこれと選択肢を拡げるのではなく、子どもの特性や希望を踏まえた、現実的な選択肢に絞った支援が必要で、「拡げること」ではなく、「決めること」に重きを置くことこそが、成功への近道となります。また、選択肢が多すぎると精神的な負担が増えて、自己評価の低下につながる可能性もあります。サポートは必要ですが、親は流れに逆らわず本人の選択を尊重する姿勢が大切です。

結論として、受験生は選択肢を適度に制限することでストレスを軽減し、より充実した学びを得られます。また、親はこのプロセスを支え、子どもが自信を持って自らの道を選ぶような環境を整えることが重要です。選択肢を拡げすぎずに受験生をサポートする。これが、これからの成功への道標となるでしょう。〔北村昌弘〕



代表北村の独り言...

今まで一生懸命に頑張ってきたのにいつも大事なテスト本番で油断してミスしてしまう残念な生徒のことを「ホップ! ステップ! 肉はなれ」と私は呼んでいます。あなたは大丈夫?

編集後記

今年のお盆休み...長期休暇だったり、カレンダーどおりだったり様々だと思いますが、皆さんはどのくらい休めたでしょうか? コロナ禍以降、帰省の在り方や、盆供養のやり方も変わってきて、お盆休みの過ごし方も変わってきたように思います。うちは自宅に仏壇があるため、盆飾りをして毎日お膳を供えています。実家と嫁ぎ先で宗派が違うこともあり、御詠歌の節にはなかなか慣れず...(-_-) こちらは主人と子ども頼みになっていて、ゆったりやらなかったりですが、この供養をすることで何となくご先祖様のご加護があるように感じています。